

令和3年4月9日（金）

## 「名張に聖火リレーがやってきた」

4月8日（木）名張に東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーがやってきました。

この日伊賀市でスタートした聖火は、午前10時半ごろ名張市の赤目四十八滝に届きました。リレーは10時50分に「不動滝」（ふどうだき）の上にある橋の上からスタートし、赤目のキャンプ場までの1.6kmを11人のランナーでつなぎました。写真は、第1走者から、第2走者への引継ぎ場面です。当日は好天に恵まれ、暖かい日差しの中、各ランナーは、それぞれの願いを込めて走っていました。聖火は4月9日には和歌山県→奈良県→に引き継がれ、7月14日に東京へ届けられます。



当日は、不動滝には「山伏」（やまぶし）＝修験者（しゅげんじゃ）も来ていただき、道中の安全を祈願して、ほら貝を吹き鳴らしてくれました。

オリンピックで使われる聖火は、ギリシャのオリンピアで採火されたもので、大会開催期間中は主競技場でともされ続けます。

伝統的に、オリンピックの開会式が行われる数か月前に、古代オリンピックが行われたギリシャのオリンピアで採火され、聖火リレーによってオリンピック開催都市まで運ばれます。過去のオリンピックの聖火はプロパンガスを用いられてきたのですが、今回は、福島県で製造された水素燃料が用いられています。（出典：ウィキペディア）

東京オリンピックの採火式は、2020年3月12日に行われましたが、今回の東京オリンピックに関わっては、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、本来の開催予定より1年間延期されました。そのため、聖火は福島県で保管され、今年の3月25日のリレースタートの日を待ちました。

東京オリンピックは7月23日に開会式、8月8日に閉会式。パラリンピックは8月24日に開会式、9月5日に閉会式です。コロナ禍ではありますが、無事オリンピック・パラリンピックが、開催されることを期待したいと思います。

